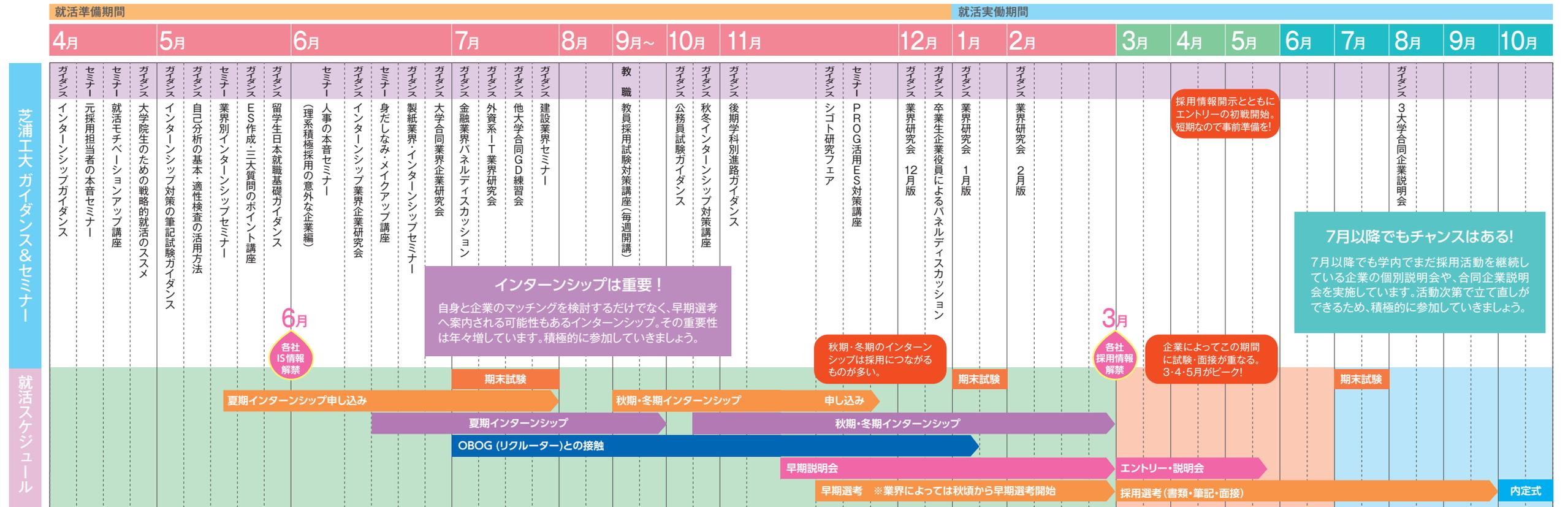


進路決定スケジュール

学部3年次・修士1年次

学部4年次・修士2年次



就活準備期～12月

01 自己分析

自己分析は進路決定に向けた第一歩。「やりたいこと」「強み」「価値観」など過去の振り返りから考え始めよう!

- 自分の強みを探そう
「仕事で役に立つ自分の強みとは」
→P.8自己PRシートを活用!
- 仕事を探す軸をつくらう
「何にやりがいを感じる?」「どんな仕事がしたい?」「どんなキャリアを築きたい?」

02 業界研究・企業研究

やりたいことを軸に視野を広げよう。興味がある業界、目標とする企業を探して具体的な企業名を知ろう!

- 興味のある業界を探そう
身の回りのモノから業界・企業を考えるとそこからスタート!
- 関連企業を探そう
その事業内容に関連する企業をリストアップ!
→「業界マップ」P.42～
- 企業研究をしよう
その企業ならではの特徴は何だろう?
→「企業紹介ページ」P.130～

03 [職種研究] インターンシップ

就業体験を通じて働く自分をイメージでき、職種の違いや適性、企業風土が見えてくる。興味のある企業や、実施時期などを確認しよう!

インターンシップとは、学生が一定期間、企業や官公庁で行う就業体験。1日仕事体験など会社見学に近いものや、2週間から1カ月程度の配属で、成果や立案を求められるものまでさまざまなパターンがあります。
→P.14「インターンシップに参加しよう!」

04 [SPI] 筆記・Web試験対策

筆記・Web試験は多くの企業が採用の重要な判断材料にします。

筆記試験には、学力や知識が問われる能力試験と、職務の適性を測る適性検査があります。また近年では、会場で行う「テストセンター方式」や、パソコンを使った「Web試験」を導入する企業も増えていきます。さまざまな種類の筆記試験がありますが、一番使われているのは「SPI」です。まずはSPI対策から始めましょう。

就活本格スタート1月～6月

01 エントリー

チャンスを逃がさないためにも興味を持った企業には積極的にエントリー。就職情報サイトや企業HPはこまめにチェック!

エントリーとは「貴社に興味を持っています!」と意思表示すること。エントリーすると資料が送付されたり、専用の採用ホームページが開覧できるようになります。Webやメールで行うのが一般的ですが、締め切りを過ぎると受けられなくなる可能性もあるので早めにエントリーしましょう。

02 説明会

社員に直接質問できるチャンス。説明会でしか得られない生の情報を積極的に収集しよう!

企業が学生に向けて事業内容や待遇、選考スケジュールなどを説明してくれる企業説明会。質問する時間も用意されているので、Webや資料などでわからない会社の雰囲気や肌で感じ取れる貴重な機会です。他の会社にはない特徴をつかみ、より具体的な志望動機につなげましょう。

03 採用選考

企業によって選考方法はさまざま。エントリーシート添削や面接対策などはキャリアサポート課に相談しよう!

選考試験対策は「実践経験」が何よりも大事!書類の書き方や筆記試験模試、模擬面接など、本番前にかに経験を積んでおけるので、その成否が決まります。筆記試験対策模試や模擬面接などは積極的に参加して問題点を修正しておきましょう!

就活終盤7月～

01 最終選考・内定

内定がゴールではない。将来に向けた長期的なビジョンを持って決めよう!
就職活動で内定を得ることはもちろん重要ですが、就職後のミスマッチを防ぐためにも内定承諾を判断する前にもう一度「将来の目標」を明確にしましょう。

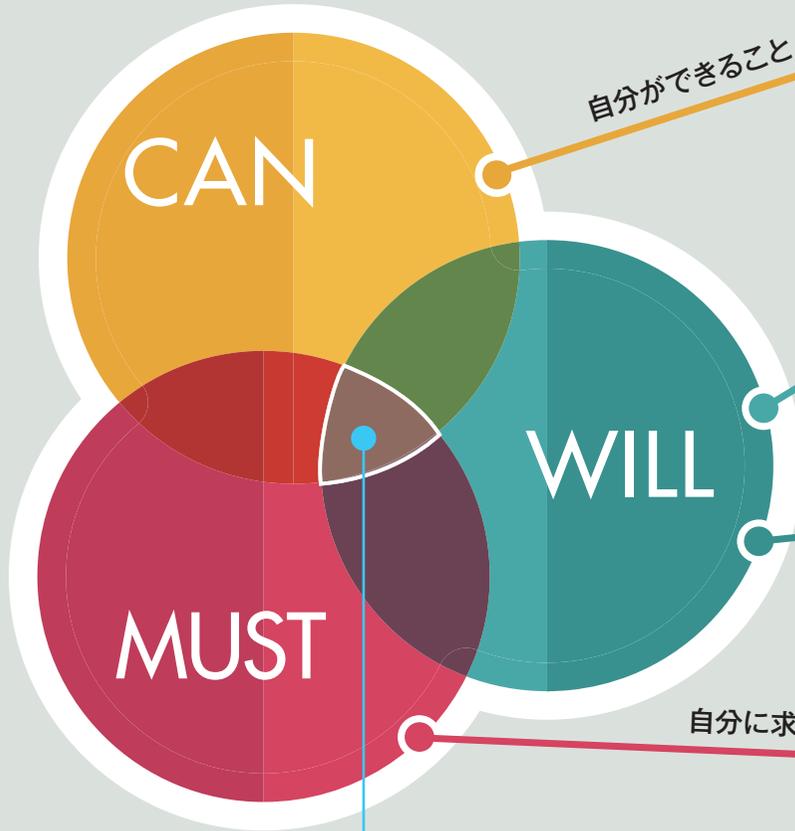
02 立て直し

未内定でも立て直せば大丈夫!
これまでの活動を見直そう!
出遅れても焦らずに改善点を探る機会と捉えて前向きに取り組みましょう。例年、年明け以降に就職が決まる先輩も数十名います。行き詰まりを感じたらキャリアサポート課を利用してください。

自己分析を始めよう

仕事探しの軸をつくる3つのリング

自己分析とは、過去の自分や現在の自分を多角的に分析し、自分の「強み」や、どんな仕事がしたいのかなどを探し出すこと。そして、ベストマッチの将来像を見つけ出し、仕事探しの軸をつくることです。



自分ができること

自分が将来やりたいこと

自分に求められること

自己分析 1
自分の「強み」を探る

自己分析 2
自分の「価値観」を探る

仕事研究 1
自分の「仕事観」を探る

仕事研究 2
求められる能力を探る

自分史ノート

小・中・高・大学生の頃を振り返り、得意・苦手なことを思い出してみる。

過去の自分を振り返り、「性格」や「得意なこと」など、まず自分という人間を整理してみよう。

他己分析

家族や友達、先輩知人などの周りの人に自分の性格などを客観的に聞く。

充実度グラフ

一番充実していて熱中できるのはどんな時、どんな理由かをグラフにしてみる。

どんな環境にいる時に、モチベーションが上がるかを書き出そう。

理想を持つ

無理だと思わず、とにかく理想の自分、やりたい仕事を思い描いてみる。

働く自分をイメージし、どんな働き方がしたいのか「価値観」を探そう。

共感ポイント探し

実際に働く人のやりがいや働き方を聞き、共感できる価値観を探してみる。

自分の長所や性格と、仕事で実際に求められる能力とのマッチングを考えてみよう。

職種研究

興味のある仕事に求められる能力や希望する企業が求めている人材などを書き出してみる。

どんな強みを持った学生なの？

自己PR

なぜウチに就職したいの？

志望動機

どんなふう活躍してくれるのだろう？

志望動機
自己PR



自分がやりたい仕事(WILL)において求められる能力や資質(MUST)を分析し、自分が得意なこと(CAN)を活かして活躍できると志望動機で説明できれば、説得力のある文章になる。

社会人基礎力 「社会人基礎力」から自分のPRポイントを見つけよう

「社会人基礎力」とは、経済産業省が提唱する、社会に必要な「3つの力」と「12の要素」です。自己PRとは「仕事で役に立つ能力」を過去のエピソードとともに伝えること。しかし、働いたことのない新卒がアピールできる強みとは何だろう？どんな仕事であっても必要とされる12の「社会人基礎力」を意識して、「仕事で役に立つ」自己PRを考えよう。

◇考え抜く力

- 01 課題発見力
- 02 創造力
- 03 計画力

◇前に踏み出す力

- 04 主体性
- 05 働きかける力
- 06 実行力

◇チームで働く力

- 07 発信力
- 08 傾聴力
- 09 柔軟性
- 10 状況把握力
- 11 規律性
- 12 ストレスコントロール

自己PRシート

Work Sheet



「自己分析」では、過去の行動の中から自分自身を見つけることが大切です。あなたの強みや特徴は、過去の「行動」や「過程」に表れます。事実を伴って分析することで、聞き手の客観的理解も深まります。ポイントは中学生が読んでわかるように書くこと。そして、「なんとなく」ではなく「なぜそうしたのか」など、きっかけや目的を明確にすること。さらに、行動に対して「成果」があったのか具体的な数字なども合わせて書くことが大切です。エクセルデータの準備もあります。詳しくは右図QRコードから

Q 01. 今までで一番がんばったこと、やり遂げたといえる経験・出来事は？

Q 02. なぜその行動を起こすことになったのか？どんなきっかけや思い、課題や背景があったのか？

Q 03. その行動でいちばん苦しかったこと、困難だったことは何か？

Q 04. それをどのように克服したのか？どんな工夫や努力をしたのか？

Q 05. その結果はどうだったのか？具体的な数字や周囲の評価は？

Q 06. 行動から学んだことは何か？成長したと思うこと、気づいたことなどは？

Q 07. この経験から、あなたの特徴・強み・価値観について気づいたことは？

自己PRシートの構成例

自己PRシートを基に文章を作ってみましょう！ 以下の構成例を参考にしてみてください。

1：「自己PRの結論」 (自己PRシート Q 07)

例文 私は責任感を持って目標を達成できる人間です。

2：「PRを表明する行動・経験」 (自己PRシート Q 01)

例文 私は〇〇サークルで主将を務めてきました。

3：「その行動のきっかけ」 (自己PRシート Q 02)

例文 そもそも主将の役割をするようになったのは～

4：「その行動の過程(プロセス)」 (自己PRシート Q 03,04)

例文 最初〇〇が発揮できず(※ぶつかった壁や弱み)、〇〇(※客観的事実)のようなこともありました。しかし、主将になったからにはリーグ優勝という目標を必ず達成したいと思い、〇〇(※客観的事実)を行ないました。

5：「その行動の結果」 (自己PRシート Q 04,05)

例文 その結果、メンバーの私に対する信頼を得ることができ、サークルとしても〇〇(※客観的事実)を成し遂げるなど、大きな成果を上げることができました。

6：「その行動からの学び」 (自己PRシート Q 06)

例文 私は当初〇〇(※ぶつかった壁や弱み)という面がありましたが、〇〇(※客観的事実)を行なってきたことで、主将としての責任感を持って、目標を達成させられることができたと思います。

● ポイントの整理

- 1 初対面の人にも伝わるよう、エピソード(客観的事実)を交えて、中学生にもわかるようなわかりやすい表現でその特徴や出来事を伝えよう。
- 2 「たまたまサークルに入って、人やチームでの協調性を学びました」では△。なぜ「やろうと思ったのか」という目的(きっかけ)と結果が結びつければ◎。わかりやすい。例えば、チームのキャプテンをしていた場合、面接官は「なぜこの人がキャプテンだったのか」に関心があり、留学などの場合、「なぜ」留学をしようと思ったのかに関心を持ちます。
- 3 「リーダーシップを発揮してチームを盛り立てました」では×。そのことで「チームはどうなったの?」「優勝したの?それとも逆に弱くなったの?」社会人になると限られた時間内でのアウトプット(成果)を求められます。成果を伝えよう。

※その他にも自己分析の方法をキャリアサポート課主催のガイダンスで、解説していきます。積極的に参加していきましょう。

業界・企業研究を始めよう!

1 身の回りの“モノ”から業界・企業を意識してみる

業界・企業研究といっても、まず何から手をつければ良いのかわからないという人も多いはず。まずは、自分の“身の回りのモノ”から業界・企業を意識してみることから始めましょう。

「あの製品はいったい誰が作っている?」「このサービスは誰が提供している?」など、日々の生活を送る中で何気なく触れている製品やサービスが、業界・企業を新しく発見することにつながります。

Point ● P.12「身の回りの“モノ”から、業界・企業を意識してみよう!」を参照してみましょう。

2 業界MAPを参照して興味のある業界を調べる

あなたがもし自動車業界に興味があったら、自動車業界と強い繋がりのある自動車部品業界を調べることは必須! スマホのような電子製品に興味がある? それならば、スマホの性能を引き出す「電子部品業界」を調べることも大切です。このように、業界・企業は必ず協力関係の中で製品やサービスを生み出しています。MONOの業界マップを使って、今興味のある業界から、その“協力業界”まで視野を広げて企業を調べてみましょう。

Point ● 業界マップで興味のある業界とその協力・周辺業界までチェックしてみましょう(P.42~「業界マップ」参照)。
● 業界マップで個々の企業同士のつながりにも注目してみましょう。(MONO業界マップでは、資本関係を結んでいる企業や、事業を共同で行っている企業等を矢印でつないであります。)



▶▶▶ OBOG情報も活用してみよう!

芝浦工業大学版モノづくり図鑑では、各企業に在籍するOBOGの情報を掲載しています(業界MAPには在籍数、個別企業ページには採用実績学科・OBOGの卒業年度・学科・専攻と在籍部署を掲載)。

他の書籍や雑誌では知ることのできない、本学の卒業生がどんな会社でどんな仕事に取り組んでいるのかをリアルに知ることができる貴重な情報です。必ず確認してみましょう!

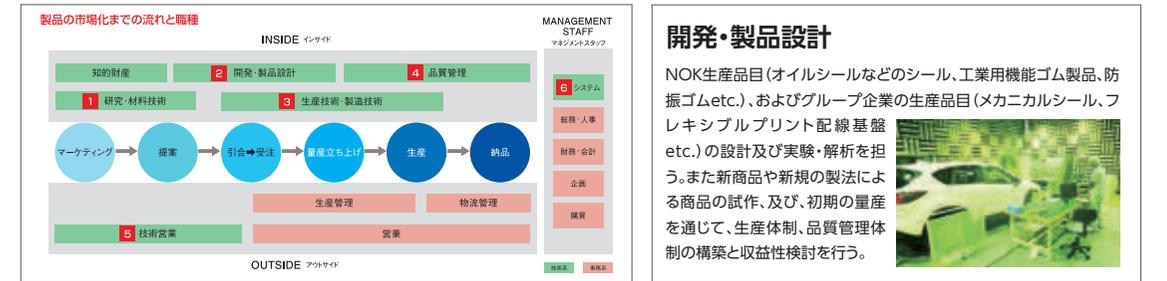


3 同業他社と比較しながら個別企業を調べる

同じ業界に属し、同じような製品・サービスを作っているように見える企業でも、実はその企業なりの「やり方」があります。例えば、製品の製造フローが違ふ、職種名は同じだが技術や仕事の守備範囲が違ふ等々…。

そういった企業ごとの“違い”を明らかにしていくのが企業研究の重要な着目点です。その違いがあなたがその企業を選択する理由、つまり、志望動機につながるのです。

Point ● 各企業の生産・製造フローに注目してみましょう。企業ごとにモノづくりの工程は違い、そこで活躍する人たちの仕事のつながりも変わってきます(P.130~「企業の紹介ページ」参照)。
● 具体的な「仕事内容」に注目してみましょう。同じ職種名であっても、業界・企業が変われば、日々取り組んでいる技術的な課題、カバーしなければならない守備範囲などが変わってくるものです。製品・サービスを生み出すための、各企業なりの「やり方」を職種という観点から感じてみましょう。



開発・製品設計
NOK生産品目(オイルシールなどのシール、工業用機能ゴム製品、防振ゴムetc.)、およびグループ企業の生産品目(メカニカルシール、フレキシブルプリント配線基盤etc.)の設計及び実験・解析を行う。また新商品や新規の製法による商品の試作、及び、初期の量産を通じて、生産体制、品質管理体制の構築と収益性検討を行う。

4 自分なりの価値観や仕事観に基づいて、これらの項目に注目してみる

業界マップや企業情報ページを調べて、興味ある企業をピックアップできたら、最後にその企業が自分にあった企業なのかを自己分析の結果に基づいて判断してみましょう。説明会やインターンシップに参加し、あなたの将来の仕事についてのこだわりに合致している企業なのかどうか、下記の企業Check項目を用いて判断してみましょう。

▶▶▶▶ **企業Check** これらの項目から、自分が活躍できる理由・特徴を探し出そう!

● 企業について	● 技術について	● 人材について	● 仕事について
<input type="checkbox"/> 経営理念	<input type="checkbox"/> 独自情報・強み	<input type="checkbox"/> 採用方針	<input type="checkbox"/> 募集している職種
<input type="checkbox"/> 事業領域	<input type="checkbox"/> マーケット (地域・年齢層・業種)	<input type="checkbox"/> 人材育成方針	<input type="checkbox"/> 業務内容
<input type="checkbox"/> どの事業で何割程度の利益を上げているか			<input type="checkbox"/> 上下関係・風土
<input type="checkbox"/> 今後の戦略・展開			

▶▶▶▶ 図書館データベースの活用

芝浦工業大学の図書館では、企業研究に役立つ各種のデータベースの検索が可能です。MONOと併せてぜひ活用してみましょう。

図書館HP: <https://lib.shibaura-it.ac.jp/>



【日経Value Search】

日本経済新聞の新聞記事が企業名ごとに検索できます。気になる企業の最新記事や所属業界の動向、同業他社一覧など、業界研究に役立つこと間違いなしです。

【東洋経済デジタルコンテンツライブラリー】

東洋経済新報社から発行されている「就職四季報」・「会社四季報」のデジタルデータを閲覧することができます。また、学士・修士卒の採用人数や3年後離職率など、企業ホームページには書かれていない情報が企業ごとに検索できます。

【eol(有価証券報告書)】

有価証券報告書とは、上場企業が公開している株主向け企業情報のこと。事業内容ごと・地域ごとの業績内容(「業績等の概要」)や、将来何に力を入れたいと考えているか(「研究開発活動」)がわかります。

また、就職情報サイトにはあまり書かれていない、今後の課題についても記載があるので、「対処すべき課題」や「事業等のリスク」の項目を読みましょう。表面的な企業のイメージだけでなく、課題や経営計画を知ることにより深く企業を理解することができます。

身の回りの“モノ”から、業界・企業を意識してみよう！

みなさんの身の回りには、普段の生活を便利にしてくれる“モノ”が溢れています。何の気なしに使っているそういった“モノ”を誰がどのように作っているかを意識したことはありますか？

普段の生活の中で触れている“モノ”をよくよく調べてみると、実に色々な業界と企業が関わり、協力しながら製品やサービスを作り上げているのがよくわかります。

まず、自分自身の生活を便利で豊かにしてくれている様々な“モノ”を今まで以上に強く意識していくことから業界・企業研究を始めてみましょう。これまでみなさんが気付くことのなかった、業界や企業がどんどん見えてくるはずです。

気になる業界があったら、該当する業界マップを探してどんな企業がそこに属しているのかを調べてみましょう。

(P.42～「業界マップ」参照)

家でくつろいでいる時には？

- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・冷暖切替、室内の温度コントロール
 - ・ホームエレクトロニクス製品の開発・製造
- エネルギー業界
 - ・電力をはじめとしたエネルギー供給
- 素材業界
 - ・液晶用光学機能性フィルム
- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・各種電子部品の開発・製造
 - ・ネットワーク通信機器の開発・製造
- 情報・通信業界
 - ・ITインフラ構築
 - ・各種インターネットコンテンツサービスの提供
- 建設業界
 - ・マンション、ディベロッパー
 - ・機能性住宅用の建材、住宅設備の開発・製造
- 通信・情報業界
 - ・通信、ネットワーク機器の開発・製造
 - ・放送、ネットワークインフラの構築
- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・精密電子部品、デバイスの開発・製造
- 情報・通信業界
 - ・インターネット接続サービス
 - ・携帯端末用ソフトウェア開発
 - ・移動体通信サービスの提供

例えば、皆さんが部屋の中で快適に過ごすためにも、実に様々な業界がかかわっています。冷暖房をはじめとした生活エネルギーの大元を支えるエネルギー・インフラ業界。快適な住空間を作るために必要になってくる冷暖房、空調管理を担う業界。生活の利便性を向上させてくれる移動体通信、ネットサービス業界などがあるでしょう。

車で移動する時には？

自動車は、みなさんがお金を出して買うことができる“モノ”の中で、最も多くの部品で構成されています。それだけに、関わっている業界の数も多く、一般的な自動車完成品、自動車部品業界以外にも、色々な業界が製品を提供して成り立っています。また自動車社会を支えるインフラ構築にも目を向けてみると視野が広がるでしょう。

- 機械業界
 - ・水素ステーションの設計・建築・施工
- エネルギー業界
 - ・石油、電力、ガス等のエネルギー供給
- 素材業界
 - ・自動車用ウィンドウフィルム
- 情報・通信業界
 - ・パワートレイン制御、車載システムの開発
- 自動車部品業界
 - ・エンジン回りのパーツ
 - ・自動車用フィルターの開発・製造
 - ・各種電装品
- シート、ドアトリム等内装品
- ワイヤーハーネス
- レーシングカー、特装車用パーツ
- 素材業界
 - ・ワイヤーハーネス、アルミボディ材
- 情報・通信業界
 - ・ガラスウール製インシュレーター
- 機械業界
 - ・自動車試作のための試験機・シミュレーター

普段便利に利用しているコンビニは、単に「流通業界」ということだけではなく、各商品を製造している業界、商品を効率的に管理するシステムを提供する業界、店舗利用した各種サービスを提供するのに必要な機械やシステムを作っている業界等がそれぞれの役割を担いながら、店舗の中で活躍しています。

コンビニで買い物をする時には？

- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・防犯カメラ
- 情報・通信業界
 - ・金融・保険ネットワーク構築
- 機械業界
 - ・金銭取り扱いに用いる機械の開発・製造
- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・デジタル複合機の開発・製造
- 食品業界
 - ・インスタント麺の開発・製造
 - ・清涼飲料水の開発・製造
- 通信・情報業界
 - ・POSシステムの開発・構築
 - ・POS情報の集積・管理・分析
 - ・物流管理ITシステムの開発・構築
- 機械業界
 - ・POSシステム用端末の開発・製造

大学に来た時には？

- 建設業界
 - ・大規模施設の設計・建築・施工
- 機械業界
 - ・大型建設用機械（重機）の開発・製造
- 事務用品業界
 - ・大型施設用事務用品の製造・販売
- 通信・情報業界
 - ・教育関連ITソリューション（カードリーダー出席管理システム等）
- 食品業界
 - ・インスタント麺の開発・製造
 - ・清涼飲料水の開発・製造
- 通信・情報業界
 - ・POSシステムの開発・構築
 - ・POS情報の集積・管理・分析
 - ・物流管理ITシステムの開発・構築
- 機械業界
 - ・大型施設向け給排水システムの設計・導入
 - ・大型施設向け空調システムの設計・導入
- 機械業界
 - ・大型施設向け免震試験機

大学のような何千人もの人が日常的に利用する大規模施設を支えていくためには多くの業界がかかわっています。施設の建設は建設業界。カードリーダーや自動証明書発行機などを提供している機械、IT・情報通信業界。大学では特に大量の机や椅子といった事務用機器が必要となり、施設の運営には欠くことのできない業界です。

病気にかかった時には？

医療機関で利用できる様々なサービスもモノづくり業界あってこそ！特に生命工医の学科・専攻に在るみなさんには、馴染みのある製品やサービスが多いかもしれません。一般的な機械、電気電子、情報通信の知識も十分に活かせる業界が活躍している分野でもありますので、注目して調べてみましょう！

- 通信・情報業界
 - ・調剤薬局管理システム
- 素材業界
 - ・絆創膏、パップ剤などの粘着剤、剥離フィルム
- 化学・医療業界
 - ・医薬品の開発・製造
- 化学・医療業界
 - ・人工透析装置、輸血装置等の開発・製造
- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・医療用モニタ、手術用顕微鏡、手術用小型カメラ等
- 電気・精密機器・電子部品業界
 - ・クーリングシステム、パサーステム、サーボシステム

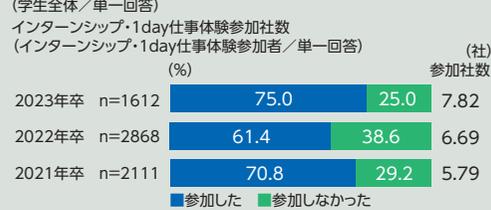
インターンシップに参加しよう!

Internship インターンシップって何?

就活の中心になりつつあるインターンシップ

1day仕事体験やインターンシップに参加した23年卒学生は、22年卒学生と比較し、参加率「75%」、参加社数も平均「7.82社」と増加傾向で、大半の学生が就活のステップとして利用しています。期間も内容も様々ですが、企業理解を深めること、参加学生との情報交換も出来ることはメリットです。視野を広げる機会として有効ですので、まずは参加することをお勧めします。

インターンシップ・1day仕事体験の参加状況



Purpose 参加のメリット・目的

目的別に参加する企業を探しましょう

目的 業界研究

→短期型(1day仕事体験等)に複数社参加
業界の特性・社会的役割への理解が深まる。

目的 企業理解

→長期型×1・2社
行きたい企業について詳しく知れる。

目的 職種研究

→職種限定長期型×1・2社
職種で求められる能力に気づける。

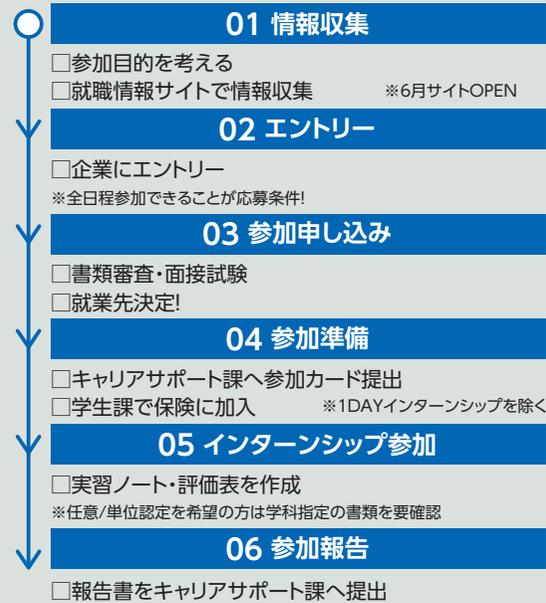
目的 採用選考の準備

→人気企業
面接や履歴書など、本番の前に体験できる。

目的 情報交換

→志望業界短期型
同じ業界をめざしている学生と出会う。

Process インターンシップ参加の流れ



■芝浦工業大学 インターンシップ用履歴書
https://www.shibaura-it.ac.jp/career_support/application/internship.html

Variety インターンシップの種類

インターンシップを有意義な経験に!

■長期インターンシップ(2~4週間)

実際の社員と同じように仕事を体験するケースが多く、仕事の流れや会社の風土などが良く理解できます。プロジェクトを想定したレポート作成や、社員の方たちに向けたプレゼンテーションが行われることもあります。

■海外インターンシップ(2週間程度)

グローバルな人材をめざす学生のために、海外企業で研修を受けられるインターンシップ制度です。参加費の一部を大学が負担する、奨学金・支援金の制度がありますので、キャリアサポート課に相談しましょう。

■短期型インターンシップ/1day仕事体験(1日~1週間)

[ワークショップ型インターンシップ]

短期型の一つですが、ゲーム形式で仕事をシミュレーションして、課題解決に挑戦し、仕事の全体像への理解を深めます。大手企業に多く、その日の実施後に、社員を交えた座談会などが催されることもあります。

[セミナー/研修型インターンシップ]

講義形式で業界や仕事について話が聞けるので、会社説明会のように気負わず参加できます。社員との接点は少ないですが、多くの企業を知るには有益です。実務を体験したり、工場、研究施設見学などもあります。

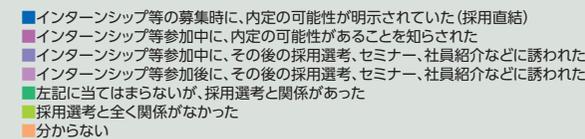
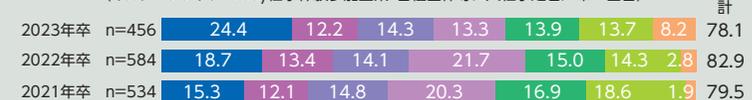
Importance 重要性は? 採用につながるの?

重要性は毎年上がっている。1dayであっても積極的に参加を!

右記図は、24年卒対象、インターンシップ・1day仕事体験を実施する企業の目的です。「業界・仕事の理解を促進させる」、「入社意欲の高い学生を絞り込む」「採用を意識し、学生のスキルを見極める」などの比率が高く、採用活動に直結しているとは言わないまでも関連していることが容易に理解できます。また、「採用に直結したものとして実施」した企業が2年連続で30%程度であることは注目が必要です。インターンシップと聞くと、「職業体験」をイメージする学生が多いようですが、短期間で開催されるものは、座学で行われる「我々が属する業界理解」「仕事内容が理解できるグループワーク」「若手社員と交流しよう」など職業体験からかけ離れたものが一般的となっています。

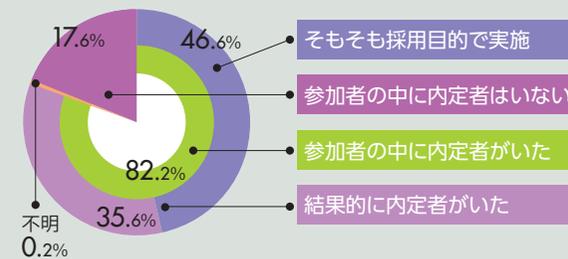
一方、23年卒学生のアンケート「インターンシップ・1day仕事体験と採用選考の関係」からも、同様のことが推察されます。「インターンシップ等募集時に、内定の可能性が明示されていた」など、インターンシップ参加中・参加後に選考の可能性、または実施されている事実が伺えます。以上の調査結果をふまえると、インターンシップと採用の関連性は「ある」という理解で準備・参加することが重要です。

インターンシップ・1day仕事体験と採用選考の関係



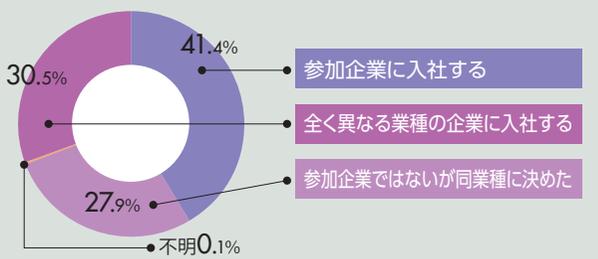
企業に聞きました!

インターンシップ参加者に内定者が含まれるか



学生に聞きました!

インターンシップ参加企業への入社予定

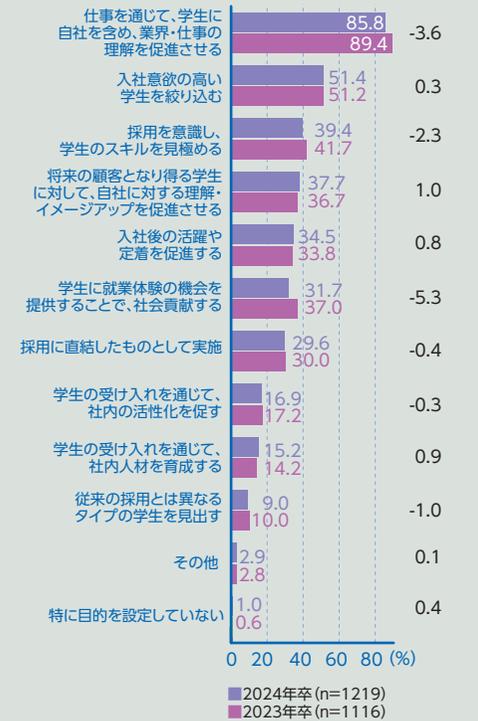


知らない業界、企業に参加することでベストマッチに出会うことも

インターンシップそのものは「採用」に利用しないというのが、企業の大前提。しかし、実際にインターンシップ参加企業へ入社予定の割合は36.9%に上ります。志望度の高い企業のインターンシップへは積極的に参加しておきたいものです。また、結果的にインターンシップ参加者の中に内定者がいた率も81.2%となり、企業にとっては自社を知ってもらい、学生にとっては仕事内容や社風を知る良い機会だと言えます。

2024年卒対象インターンシップ・1day仕事体験の実施目的

(2024年卒対象インターンシップ・1day仕事体験実施または実施予定企業/複数回答) 前年差(ポイント)



※データ出典: ①就活白書2023 データ集 ■URL: https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/hakusho2023_data.pdf
②就活白書2023 プレスリリース ■URL: <https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/hakusho20230331.pdf>

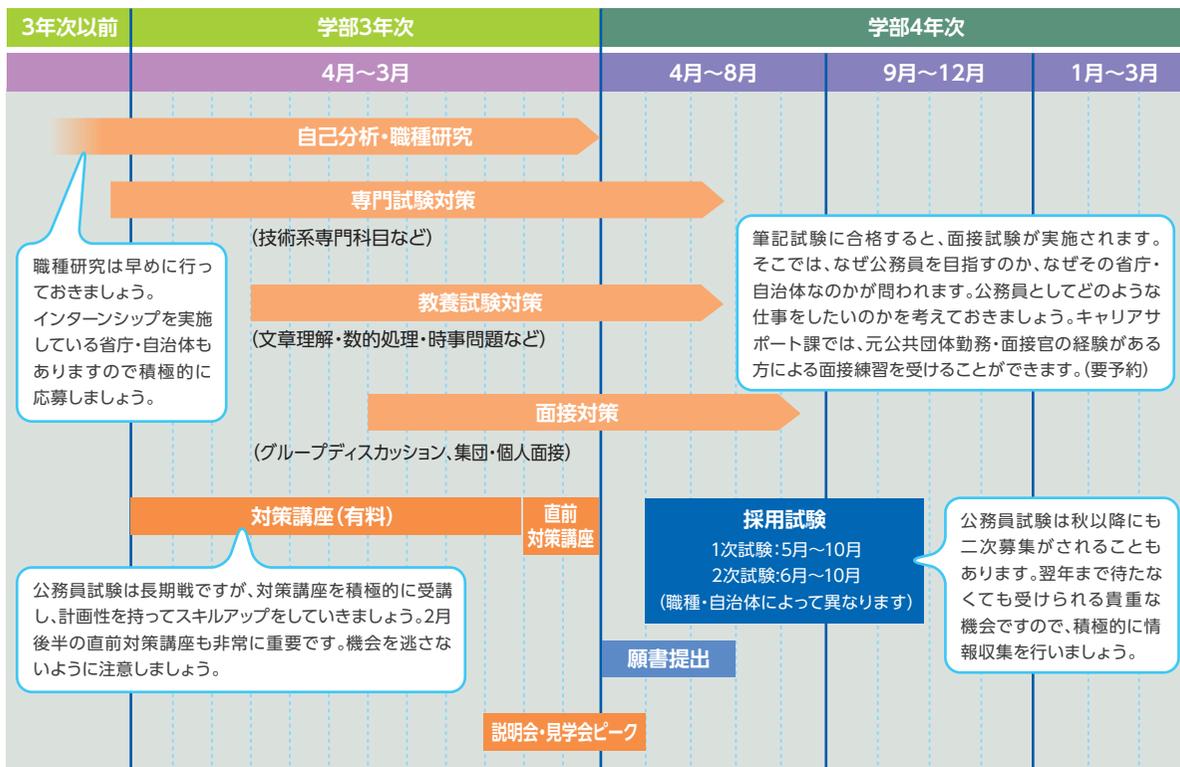
公務員

公務員の採用区分は技術系から事務系まで多種多様な知識を活かせるフィールドがきっとあります。

公務員は法律や国の施策に直接関わる国家公務員、条例策定から住民の多様なニーズにこたえる地方公務員に大別されます。それぞれの職種は、事務系の行政職と技術職からなり、技術職は「土木」「建築」「機械」「電気・電子」「化学」といった職種別に採用がなされます。技術職では多くは筆記試験として教養試験（基礎能力試験）と専門試験を課しており、入念な事前準備が必要となります。

公務員の種類	POINT
<p>■国家公務員 国の行政機関や特定独立行政法人に勤務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家総合職 ・国家一般職 <p>国家一般職の技術系試験区分ごとの主な採用省庁。[]内は2022年4月入職実績。</p> <p>土木[226]：国土交通省[191]、内閣府[2]、経済産業省[9]、気象庁[10]、林野庁[2]、水産庁[1]、防衛省[6]、警視庁[2]、環境省[3]</p> <p>電気・電子・情報[114]：会計検査院[1]、内閣官房[3]、内閣府[5]、警察庁[22]、デジタル庁[2]、総務省[10]、法務省[1]、外務省[2]、財務省税関[3]、厚生労働省[4]、経済産業省[9]、国土交通省[17]、気象庁[8]、行政執行法人[6]、防衛省[19]、衆議院事務局[2]</p> <p>物理[82]：内閣官房[1]、警察庁[4]、総務省[3]、経済産業省[2]、国土交通省[3]、気象庁[63]、環境省[1]、原子力規制庁[3]、行政執行法人[2]</p> <p>機械[69]：内閣官房[1]、内閣府[1]、警察庁[1]、法務省[2]、外務省[1]、財務省税関[1]、農林水産省[2]、経済産業省[3]、国土交通省[41]、運輸安全委員会[1]、行政執行法人[3]、防衛省[12]</p> <p>化学[128]：会計検査院[1]、内閣府[1]、警察庁[18]、財務省税関[17]、文部科学省[8]、農林水産省[11]、経済産業省[13]、国土交通省[16]、気象庁[27]、原子力規制庁[3]、行政執行法人[13]</p> <p>建築[40]：国土交通省[25]、会計検査院[1]、内閣府[2]、宮内庁[1]、警察庁[1]、法務省[4]、外務省[2]、財務省財務局[2]、防衛省[2]</p> <p>■地方公務員 各都道府県や市町村など、地方公共団体に勤務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県職員 [事務職・技術職]・市町村職員 [事務職・技術職]・警察官・消防官 	<p>公務員とは？</p> <p>国家一般職・地方上級職を例に各職種の仕事内容について紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木職：道路・河川・上下水道・都市計画の企画・設計・管理など。 ・建築職：公共施設の計画・設計・工事監理。街づくりや住宅政策も。 ・機械職：水道施設など保有機械設備の設計・施工・工事監理・維持管理。 ・電気職：水道施設など保有電気設備の設計・施工・工事監理・維持管理。 ・化学職：大気汚染・水質汚濁の監視・調査・分析・指導など。 <p>募集職種について</p> <p>地方公務員では、自治体ごとに募集職種はまちまちです。上記以外の職種がある自治体もある一方で、たとえば化学職の募集がない自治体もあります。また、職種によっては数年に一度しか募集しないこともあるので、自分で情報収集することが大切です。</p>

■技術系地方公務員採用試験対策スケジュール



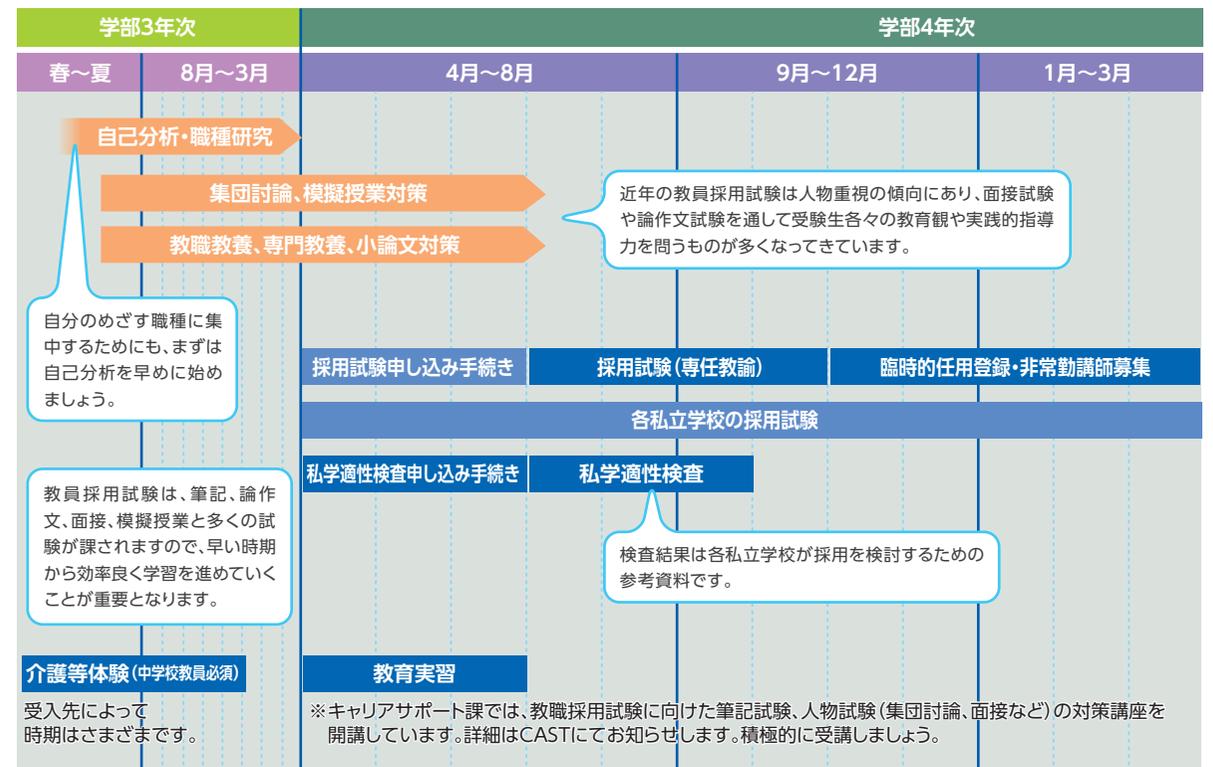
教員

専門知識だけでなく、生徒への指導力も重要。責任とともに、やりがいも大きい仕事です。

教員になるためには、まず教職課程の単位を取得して教育職員免許状を取得する必要があります。学校には公立学校と私立学校がありますが、採用基準や採用試験の内容は各自治体や各学校によって異なります。いずれの場合でも、教職に対する強い情熱、教科指導や生徒指導などの指導力、コミュニケーション能力や教養をはじめとする総合的な人間力といったさまざまな能力や資質が求められます。

教員採用試験の内容	POINT
<p>■教員試験の内容</p> <p>(1) 一般教養 (2) 教職教養 (3) 専門教養(数学・理科) (4) 論作文 (5) 面接 (6) 集団討論 (7) 模擬授業</p> <p>■面接でよくある質問</p> <p>(1) 志望動機 (2) 自己PR(長所) (3) 学生時代に力をいれたこと (4) どういう教員になりたいか (5) 教育関連の質問</p> <p>【例】 今の子どもたちに欠けていることは何だと思う？ 学習指導要領の教科の目標について</p> <p>(6) 場面指導</p> <p>【例】 クラスの中で学力の差が大きくなってしまったらどうする？ SNSで適切でない表現が流行ったときどう指導する？</p>	<p>教員になるまで</p> <p>公立の場合は、各都道府県(政令指定都市)の教員採用試験合格が条件です。私立では採用試験や選考基準は各学校独自であり、各都道府県の私学協会が行う適性検査を参考とする場合もあります。また教員免許状の取得には教育実習が必須です。実習では主専攻科目の学識のほか、対話力や指導力も求められます。責任や適性が体感できる機会でもあり、教員としての資質や見識を求められる面接試験にも、大きく関わる経験となります。</p> <p>教員の仕事</p> <p>教員の仕事は教育だけではなく、生徒たちの生活や進路に対する指導、教育環境の保守など広範囲にわたります。公立の場合は数年ごとに異動があり違う学校での経験を積み重ねます。私立の場合は定年まで教鞭をとり、長く地域に根を下ろして教えることとなります。公立・私立どちらが自分に合っているのか、自分の軸をよく見定めましょう。また、私立校の教員をめざすのであれば、受ける学校独自の建学の精神・教育理念や教育方法についての理解も深めておく必要があります。</p>

■教員採用試験対策スケジュール



キャリアサポート課・徹底活用

Point
01

スタッフがいつでも個別相談にのります!

「こんなこと聞いていいのかな?」と迷う必要はまったくありません。スーツの着こなしなどの簡単な質問から積極的に相談してください。Web面談も受け付けています。



進路相談

悩みがある時には、気軽に相談を。話を聞いてもらうだけで頭を整理することもできます。「就職活動のスタートの仕方」「進学か就職か」という相談もできます。

提出書類へのアドバイス

書類の書き方だけでなく、自己分析のやり方や企業研究での他社との比べ方など、スタッフが一緒に考えます。文章が書けたら、キャリアカウンセリングを予約しましょう。

マッチング相談

「自分はどんな業界・職業に向いている?」「世の中にはどんな働き方があるんだろう?」など、自分に合った進路の見つけ方について真剣に相談にのり、アドバイスします。

Point
02

企業の事業内容や募集情報、新聞や会社四季報など就職に関する幅広い資料が閲覧できます!



企業案内パンフレット

各キャンパスには、約6000社の企業案内パンフレットが揃っています。じっくり企業研究をしてください!

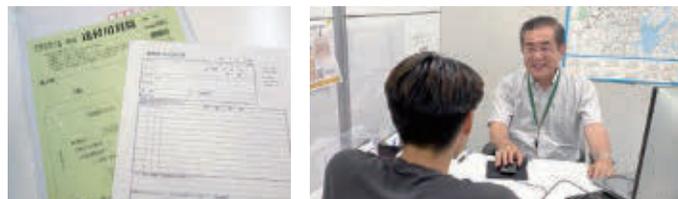


資料・参考書類

「会社四季報」や「就職四季報」「日本経済新聞」「日経産業新聞」、問題集をはじめとした参考書籍など、役立つ資料が充実しています。

Point
03

キャリアカウンセリングをWEB予約して履歴書添削・模擬面接をしましょう!



窓口での簡単な相談に加えて、CASTでキャリアカウンセリングを事前に予約すると、専門のカウンセラーに履歴書添削・模擬面接をお願いできます。一度で完璧な書類や面接の準備をできる人はいません。何度も繰り返し利用して、磨き上げていきましょう。

Step01↑ 資料を準備

見てもらう履歴書や面接練習をする企業のESなど、予約する時点で資料の提出(アップロード)が必要です。

Step02↑ CASTで予約

アップロード用の資料データをご用意の上、CASTのメニューから「相談予約」を選択し、ご希望の日時で予約してください。

Step03↑ カウンセリング当日

メールにてカウンセリング用のZoomURLを事前にお伝えしますので、時間になったらログインして下さい。希望に応じて対面でも対応することもできます。

※書き方がわからないなど、資料を準備できない場合は窓口でスタッフにアドバイスをもらってください。

Point
04

約300社の大手優良企業が皆さんのために来校します!



学内合同企業説明会

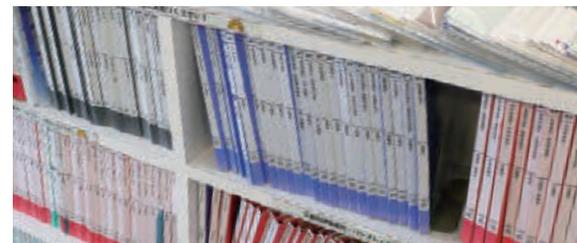
昨年度1月~3月に開催された学内合同企業説明会へは、業界を代表する約300社の企業や団体が本学の学生のためだけに来校して下さる大変貴重な機会があります。

例年、就職者の約4割がここで出会った企業に就職しています。

- 学内合同企業説明会(教室形式)
- 学内合同企業説明会(オンライン)

Point
06

公務員をめざす皆さんをサポートします!



公務員試験対策講座

各省庁や地方自治体の技術職員・行政官や研究公務員、警察官や消防官、自衛官など技術系公務員をめざす皆さんのために、公務員試験対策講座を豊洲・大宮の2キャンパス内で実施。公務員勤務・面接官の経験のある方がオンライン、または対面で面談に対応し、公務員に特化した選考対策が受けられます。公務員試験合格をめざす方へ全力でサポートします。

- 公務員試験対策講座
- 公務員経験者による個別面談

Point
08

資格取得を目指す皆さんをサポートします!

キャリアサポート課では、資格取得時にかかった資格受験料の補助を行っています。指定の資格について年度内に合格し、各キャンパスのキャリアサポート課にて申請した場合、合格時の受験料金を補助します。対象となる資格は、キャリアサポート課窓口・大学ホームページにてご確認ください。

- 対象資格:技術士一次試験、危険物取扱者(甲種)、第一種電気工事士試験、二級建築士(製図試験合格者)、データベーススペシャリスト試験、他

Point
05

本学OB・OGも皆さんの就職活動を後押しします!



校友会サポート

本学の同窓会組織・校友会から、卒業生が活躍する企業の求人をご紹介いただいています。Uターン就職希望者や4年次の夏以降に就職活動を行う方には特に有効です。その他にも企業役員を務めるOB・OGをお招きして、就活の秘訣を同窓パネルディスカッションや面接実践演習なども開催されます。

- 校友会求人
- OB企業役員によるパネルディスカッション
- 元企業採用担当、人事による面接実践演習

Point
07

インターンシップへの参加も積極的にサポートします!



インターンシップ

多くの学生が経験するインターンシップ。就職活動に向けた企業選択や職業選択の参考になります。実習の心構えや応募方法などを学ぶガイダンスや企業探しのサポートをしています。

- インターンシップガイダンス
- 提出書類へのアドバイス

Point
09

学生一人ひとりのキャリアプランをサポートします!

「仕事に強い」芝浦工業大学ですが、内定だけをめざしているわけではありません。入学したその日から、学生一人ひとりのキャリアプランへの取り組みを支援しています。

- 工場見学
- 大学院進学説明会(大学院事務課主催)
- 大学院入試論文対策
- 教員採用試験対策

CAST - キャスト - Career Station

要チェック！キャリアサポート課のコンテンツ

エントリー開始前から選考終了まで、役立つコンテンツが満載です！

CASTって、なに？

就職に関するさまざまな情報が閲覧できる
芝浦工大オリジナルの就職支援システムです！

CAST (Career Station) はさまざまな就職情報をパソコン上でいつでも閲覧できるシステムで、自宅でも閲覧が可能です。サイトへのアクセスは、学生ポータルサイト「Scomb」から行えます。



イベント情報や求人・セミナー
情報が随時更新されます。
毎日こまめにチェックしましょう！

学生
ポータルサイト
「Scomb」

「学内リンク集」の中から
◆CASTをクリック！



Contents

CASTでできること!!

- 1 エントリーシート添削・模擬面接・進路相談の面談予約
- 2 企業情報の閲覧
(卒業生の内定状況、過去の求人状況、就活サポーター情報)
- 3 卒業生進路情報の閲覧
- 4 卒業生が記載した「入社試験活動報告書」の閲覧
- 5 企業による説明会・セミナー情報
- 6 キャリアサポート課からの「お知らせ情報」の閲覧
- 7 キャリアサポート課に届いた「インターンシップ募集要項」の閲覧
- 8 キャリアサポート課に届いた「求人」の閲覧

Home

CASTは自宅PCからも
スマートフォンからも利用できます!



Event

キャリアサポート課から、学内就職イベントや求人情報など、これから多くの情報をCASTからメール発信していきます。学籍番号のメールアドレスに届くお知らせメールは必ず確認してください。

Report

進路希望・進路届(就職・進学・その他進路の決定時)をCAST経由で全員登録してください。

※大学が公共職業安定所に代わり就職支援をする場合、求職票の提出(職業安定法第33条の2)が義務付けられているためです。

1：キャリアサポートガイド

就活スケジュールから、推薦応募の基本情報、就活での服装から企業へのメールの送り方といった、就職活動の基礎の基礎がまとまった情報誌。
これから就職活動を始める人は、MONOと共に、まずこれから見てください!



2：キャリアサポート課 Youtube チャンネル

キャリアサポート課主催で実施した就活イベントのアーカイブ映像をいつでも見ることが出来ます。授業で参加できなかったコンテンツや、参加したけど復習のために再度視聴することも可能です。低学年の学生も視聴できるため、就職活動を先取りで進めていきましょう!

※視聴には学籍番号のgoogleアカウントにログインする必要があります。



学部就職と院就職、どう違う？

理系学生が就職活動を進める際、「学部就職」と「院就職」のどちらが有利か考えることになると思います。一般的には院生の方が有利だと言われていますが、その理由はどこにあるのでしょうか。ただ修士の学位を取得すれば自動的に有利になるというわけでもないので、卒業生と本誌掲載企業のデータを中心にみていきましょう。進学を検討している学生にも参考になる内容です。

上場企業就職比率

就職活動の際、誰もが意識する「優良企業」。学部卒と大学院修了で就職実績に差があります。「上場企業＝優良企業」ではありませんが、諸条件が整っている確率が高いので就職先の候補に入れてみるのも良いかもしれません。※各学科・専攻ごとのデータはキャリアサポート課までお問い合わせください。

学部卒 48.9%
大学院修了 54.2%

どうして院生の方が有利になる？

「院生だから優先して採用する企業」「学歴フィルターを設けている企業」は少数です。したがって学位が就職に直結しているわけではありません。企業が期待していることは「プラス2年で得たもの・こと」です。皆さんが大学で得ているものを深められるように日々の課題に取り組みましょう。

企業が理系学生に期待しているもの・ことは？

- ・専門性 ・実験や実習の進め方
- ・理論の使い方 ・装置や器具の使い方
- ・プロジェクトの管理方法
- ・論理的思考と批判的視点 など

企業別採用者数

企業	理系採用総数[名]	うち理系学部卒[名]	うち理系院修了[名]	修士比率
川崎重工業	228	17	211	92.5%
京セラ	319	60	259	81.2%
ファナック	79	20	59	74.7%
鹿島建設	264	96	168	63.6%
富士電機	167	50	117	70.1%
クボタ	223	30	193	86.5%
オリンパス	42	10	32	76.2%
三菱マテリアル	61	10	51	83.6%
資生堂	25	3	22	88.0%
東京エレクトロン	264	32	232	87.9%
KDDI	182	25	157	86.3%
NTTデータ	398	110	288	72.4%

業界ごとに大手企業をピックアップし、各社の2023年度新卒理系採用数をまとめました。大学院に進学すれば大手企業に就職できることを示すわけではありませんが、大手企業への就職を視野に入れるのであれば、進学は有利にはたらくと言えます。

参考文献：「就職四季報 総合版 2024年版」東洋経済新報社

学部卒、院修了の配属部署、職種

■2019～2022年度卒の製造業志望者を抽出し、下記の職種に絞って比較しました。

職種	学部卒		院修了	
	人数[人]	割合	人数[人]	割合
メンテナンス	95	7.4%	18	1.8%
開発・設計	861	67.4%	671	68.0%
研究	25	2.0%	151	15.3%
生産管理	35	2.7%	10	1.0%
生産技術	219	17.1%	113	11.4%
品質管理	42	3.3%	24	2.4%
総数	1277	-	987	-

モノづくりの工程
川上
↓
川下

研究職では、上記職種へ就職した学生のうち、学部卒は2.0%、院修了は15.3%が就いています。

開発・設計職では院修了を学部卒が上回っていますが、全体的な傾向として川上のポジションは大学院修了の割合が高くなります。本学に限らず、一般的には開発・設計職の中でもより川上（要素開発など）には大学院出身者の割合が高くなる傾向にあるので留意が必要です。今回は就職支援システムのデータを引用しているため、表のような職種名を出していますが、各企業のモノづくりの工程でどのような役割を担うかにも注目して企業情報を得るようにしましょう。

学部卒、院修了で選考の際に見られるポイント

■学部卒、院修了による選考ポイントの違い

本誌掲載企業を対象にアンケートを実施しました。32社が「差がない」と回答した一方で、21社が選考視点のポイントを挙げています。一部の回答を紹介します。また、企業によっては院進学の理由を確認する場合もあるようです。回答数：本誌掲載企業中55社

	学部生	院生
ポイントの違い① 院生には「+α」を求める	コミュニケーション力・取り組む姿勢	+専門性
	学部カリキュラムでの学習状況・姿勢、業務関連知識・技能の吸収意欲	+研究生活を通して得る課題解決力・対人理解力
ポイントの違い② 院生には「別の要素」を求める	柔軟性（今後の伸びしろ）	専門性
	取り組み姿勢や計画性、成果目標	研究テーマに対する理解度、知識

「上場企業就職比率」でも解説したとおり、学歴ではなく「学習歴」が重要です。日々の実習や研究を通じて「どんなことを+αで得ることができるか」を意識することが重要になります。

また、これらの要素は就職活動の場だけではなく、就職後にも求められることです。企業は年々新卒者にも即戦力を求める傾向がありますが、ここでいう即戦力とは業務経験や専門知識ではなく「考え方」や「取り組み方」であることを理解しておいてください。

大学院だからこそ経験できることは？

- ・プラス2年の授業、研究
- ・学会への出席、発表

学生生活が長い分、課外活動やアルバイト、ボランティアに使える時間も増えます。学内の活動同様に、「その活動を通じて何を学べるか」を意識しましょう。進学を検討する際、外部進学も候補に挙げますが、内部進学には①学部時代とテーマを継続できる②指導教員、メンバーとの人間関係を維持できるなどのメリットがあります。

卒業生インタビュー

2人の先輩にインタビューを行いました。学生時代の経験や体験、それが今の仕事とどのようにつながっているかを聞きました。



青木 智暉 キヤノン株式会社

2019年卒業
システム理工学部 生命科学科 生命医工学コース/システム理工学専攻
福祉人間工学研究室(花房研究室) 出身

現在の業務内容

オフィス複合機や商業印刷機の機械設計を担当。3DCADを使ったモデリングや製図、シミュレーションソフトを使った構造解析、あらゆる外部環境を想定した実機検証などを行い、製品開発を進めている。

理系の専門性を活かしたい

キャンパスに興味を持ったのは印刷機やカメラ、医療機器、半導体製造装置など多くの機械部品で構成される製品を持っているからです。就活当時はIoTやICTなどソフトに関する話題がトレンドでしたが、説明会で聞いた「製品を支える機械設計の重要性」に興味を持ちました。他社同様、ソフトウェアの技術力強化に注力しながらも、それと共存する機械設計の更なる強化へも重点をおいていたので、機械系人材を目指す私でも活躍できる企業だと感じました。

主体性が求められた大学院生活

学部生以上に自ら考えることが求められました。院生になると自分の研究だけでなく、後輩の指導や学会発表なども並行して行わなければならない、自己管理と計画性が必要でした。これも専門性以外に大学院で得たことだと思います。

時間は財産

進学することで学生ならではの経験をより多く積むことができました。この経験から挑戦したいことが見つかりましたし、自分の強み・弱み、仕事に対する考えなど社会人になる準備がじっくりできたと思います。留学生との研究や他大学や企業との接点にも多く恵まれました。学部生のときに、いざ就活を始めようと思ったときに志望先が分からずに悩みました。おそらく、当時の私には何かの仕事を目指したくなるほどの経験も自己理解もできていなかったからだと思います。自分自身を見つめられたのも大学院生活の大きな財産です。

現場で院生に期待されていること

私の周りには院卒の社員が多いです。理由は様々あると思いますが、学問的な知識よりも論理的思考ができるか、研究活動などで培った理論の組み立て方やタスクの進め方で力を発揮することが期待されていると感じています。

田村 里美 サッポロビール株式会社

2007年卒業
工学部 土木工学科/建設工学専攻
水圏環境研究室 出身

これまでの経歴と現在の業務内容

機械・電気系エンジニアとして新規設備導入や生産管理、エネルギー管理を担当。2020年より人事部にて技術系採用や次世代育成、社内のダイバーシティ&インクルージョン推進を担当。



新たな専門性を身につけたかった

大学では土木工学を学びましたが「新たな専門性を仕事を通じて身につけたい」と思った欲張りな思考から入社を決めました。自分が楽しいと思える仕事ができる気持ちも強く、ビールを通してお客様の生活を楽しく豊かにでき、そんな商品を作ることに携われる仕事は楽しそうという思いもあり、社員と話をしていく中でどんどんサッポロビールに魅了され、入社を決めました。

社会人になって即活かせる経験

研究や実験のプロセスや思考方法です。研究を進めるなかで培ったものですが、入社後も同様のことが求められます。仕事では自ら課題を見つけて解決し、会社の業績につなげられます。学部に加えて2年間分の経験を積みましたが、学会や授業の中でプレ

ゼンをする機会も多く、このようなことは就活のときに役立ちました。もちろん、研究内容についてしっかり話せるということもあります。

大切なことは目的意識

今、進学を検討している後輩には「進学して何をしたいのか」をある程度明確しておくことをおすすめします。人の意見ではなく、自分が何をしたいのかが大切です。院進により学生期間は長くなりますが、何も考えずに目的なく過ごすこととあつという間に時間だけは過ぎます。そのためにも、学部時代は、自分が熱中できること、興味のあることについて時間を惜しまずにどんどん挑戦してみてください。それは研究でもそれ以外でも何でも良いと思います。

内定者インタビュー

2人の2024年3月修了予定の内定者にインタビューを行いました。進学前後のギャップや学部時代に取り組むべきことはなにかを聞きました。



小野 雄生

理工学研究科
機械工学専攻
ナノ・マイクロ応用理工学
研究室



高瀬 美和

理工学研究科
電気電子情報工学専攻
人間支援知能ロボティクス
研究室

Q 院進学をしようと思ったきっかけは何ですか？

A 小野：理系大学生は院進学するのが一般的と考えていたことに加え、進路ガイダンスでの院進学者数が増加傾向にあるという情報が進学の後押しとなりました。また研究を進めていく中で、研究への理解をより深めたいという思いが芽生えたこともあり進学を決めました。

高瀬：学部生時代にも就職活動をしていましたが、就職活動を通じ、様々な職種や業種を知っていくにつれて自分の専門分野をしっかりと持った理系人材として仕事をしたいという思いが強くなり、大学院への進学を決意しました。

Q 院進学して良かったことはなんですか？

A 小野：研究を通じて多くの機関や人と関わったことです。私は研究を通じ海外の大学、企業と関わりながら研究をさせてもらえました。このような環境で研究できたことで様々な視点での考え方や、研究の社会的な位置づけといったところに気づくこともできました。この周りと深く関わり研究をできたことは院進学ならではのことでと思います。またこのエピソードは就職活動においても大きなアピール材料となりました。

高瀬：まだまだ勉強すべきことは沢山ありますが、研究室に所属し大学院生として2年間研究活動を行うことが出来たので、学部生時代と比較すると自分の専門分野に自信を持てたと思います。また、研究活動は自分自身でタスクを考え、管理し、進めていかなければなりません。こういった経験を学生のうちに積めたことは自分自身の財産になったと思います。

Q 院進学する前とした後では何かギャップはありましたか？

A 小野：進学前は、院は研究を追求する場という漠然としたイメージを持っていました。しかし実際は進学と共に就職活動や研究以外の作業とやるべきことが一気に増え大変でした。またそれらを同時並行で進める必要があり、作業管理のためTodoリストを作成し作業管理に努めていました。

高瀬：想像以上に自分の裁量によるところが大きいと感じました。院生になっても授業や研究についてある程度課題が与えられてそれをこなしていくのだろうと考えていたのですが、課題を定め自発的に動くことが求められる場所でした。その分動いたら動いた分だけ進学前は想像していなかったような様々な経験を積むことができました。

Q 院進学する際に意識しておいた方がよいこと、やっておいた方がよいことはありますか？

A 小野：自発的に行動することを意識すると良いと思います。学部時代は先輩の指導の下、研究を進めていくと思います。しかし院進学後には研究を主導する立場になるため、自身で考え実行する能力が必要になります。また就職活動の場でもこの自ら考え行動に移せる人材は特に重宝される傾向にあると感じた経験からも、在学期間中に身に付けておくことと良い能力だと思います。

高瀬：自分が大学院で何を達成したいのか、どんなことを研究したいのかという意思をしっかり持つことが大切だと思います。研究室にもよりますが、学部生よりも大学院生の方が、ある意味で自由な時間が多いです。何もしていないと時間は過ぎて行ってしまうので、自分自身で目標を定めることが大学院生活を充実させることに繋がると思います。

Q 就職活動に関して、後輩たちにアドバイスをお願いします！

A 小野：初めに特定の業界、業種に絞らず幅広く業界・企業研究をすることを勧めたいです。その中で企業理念やビジョンに共感でき、自分の働くイメージが湧くという点で企業選択すると良いと思います。また就職活動では結果が振るわなくても落ち込まず、結果を受け止め割り切ることが重要だと思います。そしてその原因を考え次に活かすことで徐々に良い結果もついてくると思います。

高瀬：進学を決めた当初は学部卒の友人よりも就職が2年遅れてしまうことに戸惑いもありました。しかし、大学院の生活は想定よりも充実しており今は進学したことには後悔はしていません。院生としての生活は就活や研究などやらなければいけないことが多く、時間もあっという間に過ぎます。研究活動に力を入れて取り組むことは就職活動にも必ず役立つと思うので、それぞれを両立させて頑張ってください！

学部在学中にやっておくと効果的な進路への取り組み

院進学を希望している方も学部3年、4年の時間を有効に使って進路選びに役立てましょう！
学部生のうちに進路の志望について考えておくと、余裕をもって就活の準備や対策を進めることができます！

① 世の中の仕事を知ろう

世の中には様々な仕事があり、やりたい仕事が見つかる人ばかりではありません。本書や先輩の進路先、ニュース記事、身の回りの製品・サービス等から世の中の仕事を意識してみましょう。
その中で興味を抱けそうな仕事、専門性を活かせるような仕事を探してみてください。
これがやりたい!!と心に決めた仕事がある方も、一度は視野を広く持って本当にその仕事が一番やりたいことなのか考えてみましょう。

② 興味のある仕事を具体的にしていこう

院進学を予定している場合でもインターンシップ、業界研究会、企業説明会等の企業イベントに積極的に参加し、仕事への理解を深めておくことを強くお勧めします！同じ業界内の企業(競合他社)比較も重要です！
大学院に進学すると研究が忙しくなり思うように時間がとれないこともあります。限られた時間で進路について慌てて考えることのないよう、しっかりと準備を進めましょう！

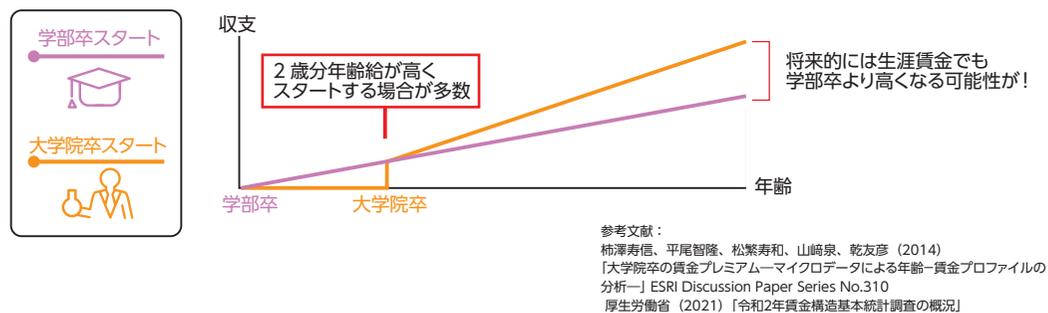
③ “逆算思考”で学生生活を成長に繋げよう

逆算思考とは目標を設定し、それに向けて必要なスキルを身に付けていくという考え方で、やってみよう(目標)がイメージできるようになったら、逆算思考を意識して必要な経験を積んでいきましょう。
専門性を高めるために研究を頑張る、グローバル企業で活躍するために語学力を向上させる、コミュニケーション能力を高めるために研究室や課外活動で意識的に取り組む、...等々、選考の際にアピールとなる経験を積んでいきましょう！目標や取り組みを意識した学生生活を送ることが出来れば、大きな成長に繋がられるはずです！

生涯賃金

社会人エンジニアを目指すのであれば、どのタイミングで就職するかが重要になります。皆さんが気になるであろう賃金については、大学院に進学してから就職した場合、働きだす年齢が高いため基本給も高くなる場合が多いです。また、大企業の場合では大学院卒の方が昇給の幅が大きく「大学院卒の賃金プレミアム」として指摘されることもあります。つまり若いうちは学部卒の方が早くから収入を得られるため、就職してからの総支給額の面でリードしますが、ある時点から大学院卒の方が高くなり、その差が拡大する可能性があるということです。将来を考えた場合、大学院進学をしても学費以上のものを得られる可能性があります。このようなことから、短期的な給与だけを比較せず様々な可能性を考えた上で進学を考えてみたいかがでしょうか。

■ 学部卒と大学院卒の収支の差について ※一例です。選択によって変わることもあります。



奨学金情報

大学院進学には費用がかかりますが、学びの意欲をサポートする制度として「修士課程進学奨励給付奨学金」があります。詳細は学生課までお問合せください。

芝浦工科大学 修士課程進学奨励給付奨学金 (学科推薦利用者のみ)	
Aタイプ 各学科1位!	Bタイプ 理工系女子技術者育成枠!
60万円×2年間	30万円×2年間 ※各学科1名
Cタイプ 成績上位者!	Dタイプ 学科成績上位50%!
30万円×2年間 ※全学科併せて25名	10万円×2年間
グローバル理工系人材育成奨学金 (学内進学者全員対象)	30万円×2年間 TOEIC 550点以上 ※上限600名

重複採用なし

同じ失敗をしないで!

シューカツの反省点

<p>就活を始めるのが遅かったため第一志望の企業の面接が一番最初になってしまったことです。</p> <p>内定先/株式会社IHJ 所属/機械工学専攻</p>	<p>もっと早めに始めたらより多くの業界や企業のことを知れたと思う。</p> <p>内定先/ソニーグローバルソリューションズ株式会社 所属/デザイン工学科</p>	<p>大学院1年の12月から急に就職を決めたが時間的に厳しい。</p> <p>内定先/ルネサスエレクトロニクス株式会社 所属/材料工学専攻</p>	<p>就活が始まってすぐはES添削や面接練習の重要性をあまり分かっていませんでした。しかし選考を進めていくにつれて、自分の考えを第三者視点から見てもらうことの大切さを実感しました。</p> <p>内定先/株式会社資生堂 所属/機械工学専攻</p>
<p>早期選考を受けずに、3月から選考を受け始めたこと。周りが就活を終える中、自分だけ内定がない状況がプレッシャーになった。</p> <p>内定先/ミネベアアミツミ株式会社 所属/材料工学科</p>	<p>就活系のサイトやネット掲示板を見ていたこと。もちろん参考になる情報もありましたが、今思えば無意識のうちに他人と自分を比べて、結局は焦りや不安を生むだけだったように思います。</p> <p>内定先/新電元工業株式会社 所属/応用化学専攻</p>	<p>もっとはやく面接対策など、キャリアサポート課を活用すれば良かった。</p> <p>内定先/八千代エンジニアリング株式会社 所属/社会基盤学専攻</p>	<p>インターンシップはもっと経験した方が良かったと思いました。特に選考型のインターンシップは面接やES作成を早い段階で経験することが出来るので、もっとやっておけば良かったと反省しています。</p> <p>内定先/キャンメテカシステムズ株式会社 所属/生命化学科</p>

後輩に伝えたいこと

<p>インターンに参加しましょう。ESを書く練習にもなりますし、1dayのインターンでも長期インターンシップにつながったり、早期選考につながります。先輩やキャリアサポを頼っていきましょう。</p> <p>内定先/オムロン株式会社 所属/電気電子情報工学専攻</p>	<p>自分に自信を持ちすぎると失敗するので、周りをとにかく頼って就活をおこなってください。</p> <p>内定先/トヨタ自動車株式会社 所属/機械工学専攻</p>	<p>就活は大学生活全体を見られるものなので、遊びでもなんでも積極的に行動を起こしてください。その中でぶつかる壁や挫折、そしてそれに対する自身の行動や考えが就活で必ず役に立つと思います。</p> <p>内定先/本田技研工業株式会社 所属/情報工学科</p>	<p>芝浦の人は特に始めるのが遅いので、だらだらして後から焦るなら早くやった方が良い。</p> <p>内定先/東京エレクトロン株式会社 所属/機械工学専攻</p>
<p>芝浦に来ている推薦はレベルが高いと思います。是非積極的に使うべきだと考えます。</p> <p>内定先/株式会社SUBARU 所属/システム理工学専攻</p>	<p>1人で就活するのは無謀なので周りの人と協力してやるのが大切だと思います。その際、感謝の気持ちだけは忘れないでください。</p> <p>内定先/東日本高速道路株式会社 所属/土木工学科</p>	<p>学歴フィルター上は問題もないので、積極的に大企業にエントリーすることをお勧めします。</p> <p>内定先/ファナック株式会社 所属/機械工学専攻</p>	<p>就活は情報戦だと思います。早く動くほど有利になるのでセミナーや説明会、インターンシップにどんどん参加して情報を集めてください。</p> <p>内定先/本田技研工業株式会社 所属/機械工学専攻</p>